

令和元年度

教育委員会点検・評価報告書

令和2年9月

川越町教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられています。

また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、川越町教育委員会の会議及び活動状況の一覧を示すとともに、同法に基づき川越町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々の意見を付して取りまとめたものです。

今後も点検・評価の結果を事務改善に役立てながら、よりよい教育の実現を目指してまいりたいと考えますので、皆様の一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

目次

I	教育委員会の会議及び活動状況	
1	会議状況一覧	1
2	活動状況一覧	3
II	点検・評価の概要	
1	点検・評価の方法	5
2	自己評価の基準	5
3	学識経験者の知見の活用	5
III	令和元年度の点検と評価	
1	学校教育	6
2	社会教育	13
IV	学識経験者の知見の活用	
1	説明及び面談の実施	18
2	意見の要旨	18

I 教育委員会の会議及び活動状況

1 会議状況一覧

月日	場所	会議名	議案、報告等
4月17日	川越町役場	教育委員会・校園長会の合同会議	・平成31年度学校（園）教育ビジョンについて ・各校・園の近況報告
		教育委員会	○議案 第6号 平成31年度奨学金の貸与及び付与について 第7号 川越町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について ○協議 ・平成30年度教育委員会の点検と評価について
5月15日	川越南小学校	教育委員会・校園長会の合同会議	・各校・園の近況報告 ・平成30年度教育委員会の点検と評価について
		教育委員会	○議案 第8号 令和元年度学校評議員の委嘱について 第9号 令和元年度学校関係者評価会議委員の委嘱について 第10号 令和元年度社会教育委員の委嘱について ○協議 ・令和元年度 総合教育会議に向けて
6月19日	川越町役場	教育委員会・校園長会の合同会議	・各校・園の近況報告 ・小学校教科書採択に係る教科書見本の閲覧
		教育委員会	○協議 ・令和元年度 総合教育会議について ○報告 ・令和元年度川越町奨学金の受給者と返還者について ・学校教育課関連工事について
7月10日	川越町 あいあいセンター	教育委員会・校園長会の合同会議	・各校・園の近況報告
		教育委員会	○議案 第11号 令和2年度使用小学校教科用図書及び令和2年度使用中学校教科用図書の採択について ○協議 ・令和元年度 教育委員研修について
8月22日	川越町役場	教育委員会・校園長会の合同会議	・全国学力・学習状況調査の公表について ・各校園の1学期の反省と2学期に向けて
		教育委員会	○協議 ・教育委員の人事案件について

			<ul style="list-style-type: none"> ○報告 ・令和2年度 PTA 予算要望について
9月18日	川越中学校	教育委員会・校園長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の各校の結果報告 ・各校・園の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○議案 第12号 川越町立川越幼稚園利用者負担額に関する条例施行規則及び川越町子どものための教育に関する利用者負担額に関する規則の一部改正について ○協議 ・教育委員視察研修 総社市・英語特区について ○報告 ・幼児教育・保育料無償化とこれに伴う給食費の見直しについて
10月16日	川越町役場	教育委員会・校園長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の任命についての報告 ・各校・園の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○協議 ・令和元年度教育委員会の点検と評価について ・視察研修（総社市英語特区）還流報告 ○報告 ・教育委員会教育長職務代理者の指名について
11月13日	川越北小学校	教育委員会・校園長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・川越中学校制服の変更について ・各校・園の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○議案 第13号 学区外就学の承諾について ○報告 ・川越町いじめ問題対策連絡協議会について ・奨学生の辞退について
12月11日	川越町役場	教育委員会・校園長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各校園の2学期の反省と3学期に向けて ・各校・園の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○協議 ・非認知能力を高める方策について
1月15日	川越中学校	教育委員会・校園長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック聖火リレー サポートランナーについて ・各校・園の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○協議 ・幼児教育の充実について ○報告 ・令和2年度の土曜授業について
2月19日	川越町役場	教育委員会・校園長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各校・園「学校自己評価」の結果と考察について ・各校・園の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○協議 ・コロナウイルス感染症に係る卒業式の開催について ○報告 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査について ・川越町子ども議会について

2月26日	川越町役場	教育委員会（臨時）	○議案 第1号 令和2年度教職員の人事異動について
3月11日	川越町役場	教育委員会・校園長会の合同会議	・臨時休業への対応と現在の状況について ・各校園の3学期の反省と来年度に向けて
		教育委員会	○議案 第2号 川越町立小学校及び中学校における教育職員の在 校等時間の上限等に関する規則の制定について 第3号 学校の管理に関する規則の一部を改正する規則に ついて 第4号 川越町文化財調査委員会委員の委嘱について ○協議 コロナウイルス感染症に関する対応について ○報告 ・令和2年度当初予算（教育委員会関連）について ・川越町立小中学校事務処理等規程及び川越町立中 学校事務の共同実施協議会設置要綱の改正について ・川越町子ども110番の家災害見舞金交付要綱の制 定について

2 活動状況一覧

月日	場 所	内 容
4月6日	川越南北小学校	入学式
4月6日	川越中学校	入学式
4月9日	川越幼稚園	入園式
4月10日	松阪市嬉野生涯学習センター	三重県市町教育委員会関係三団体総会 「初等中等教育の施策の動向」について
4月19日	川越中学校	授業参観
4月20日	川越南北小学校	土曜授業参観
5月15日	四日市市役所	第1回 教科書採択協議会
5月18日	川越中学校	土曜授業参観
5月25日	川越南北小学校	運動会
6月5日～8日	川越幼稚園	保育参観
6月9日	川越町あいあいホール	町防災講演会
6月16日	川越南北小学校・中学校	土曜授業参観
6月27日	川越町役場	川越町総合教育会議
7月8日	四日市市役所	第2回 教科書採択協議会
8月30日	松阪市嬉野生涯学習センター	三重県市町教育委員会教育委員等研修会 「学校の安全・安心」「教育委員会の活性化と委員としての役割」

9月6日	川越南小学校	授業参観
9月12日	川越中学校	体育祭
9月13日	川越北小学校	授業参観
9月21日	川越中学校	土曜授業参観
9月24日～25日	岡山県総社市教育委員会 昭和小学校・昭和中学校	教育委員視察研修 「英語特区の取組、幼小中連携の取組」について
9月28日	川越幼稚園	運動会
10月13日	川越町総合運動場	町民運動会
10月21日	三重県四日市庁舎	第3回市町等教育長会議【北勢地域】 「三重県教育ビジョンの改訂について」 「教職員の働き方改革について」
10月24日	松阪市クラギ文化ホール	三重の教育談義 「これからの時代に求められる人材の育成」について
10月31日	川越中学校	文化祭
11月7、8、11日	川越幼稚園	生活発表会①
11月16日	川越南北小学校・中学校	土曜授業参観
2月8日	川越南北小学校	土曜授業参観
2月12日～14日	川越幼稚園	生活発表会②

Ⅱ 点検・評価の概要

1 点検・評価の方法

川越町教育基本方針の各目標達成のための主な取組内容を示し、これに対する成果指標及び実績に基づく自己評価を行います。

さらに、この自己評価を行うに当たっての現状と課題を明らかにし、今後の事務改善を図ります。

2 自己評価の基準

評 価		目 安
A	十分達成している	81～100%
B	ほぼ達成している	61～80%
C	十分達成できていない	41～60%
D	達成できていない	40%以下

3 学識経験者の知見の活用

教育委員会の点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の方々から教育委員会の取組内容、自己評価、現状と課題等について様々なご意見をいただきました。

今後の事務改善に活かしていきます。ありがとうございました。

<学識経験者>

川越高等学校 校長 梅澤 裕 さん

川越中学校 元PTA会長 森谷 賀樹 さん

Ⅲ 令和元年度の点検と評価

1 学校教育

基本方針 豊かな心を土台とした社会で生きていく力の育成

幼稚園（幼児）教育		
<p>目標1 環境を通して行う総合的な保育の実施</p> <p>目標2 一人ひとりの幼児の特性に応じた保育の実施</p> <p>適切な環境を設定し、自発的な活動としての「遊び」を重ねる中で、幼児一人ひとりの特性に応じた保育を行うことで、個々の幼児の資質・能力を育みます。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会見学、観劇等体験活動の充実促進 ○ 親子交流、幼保・幼小・幼中交流等、人間関係を育む活動の実施 ○ 特別支援講師、生活支援員の配置 ○ こども・家庭相談支援係、西日野にじ学園等と連携した発達支援の推進 ○ CLM の活用推進 ○ 外国語活動の充実のための ALT の配置 ○ 安全・安心な給食の提供と食育の実施 		
成果指標	実績	評価
「喜んで園に通っている」の肯定回答が 90%以上	99%	A
「生活や活動の決まりや基本的な生活習慣が身についてきている」の肯定回答が 90%以上	98%	
現状と課題		
<p>経験年数が少ない教員がいる中、子どもや保護者に寄り添った保育を地道に継続した結果、ほとんどの園児が喜んで通園できている様子が見られる。園行事を工夫しながら、挑戦する場の設定を適切に行った結果、個に応じた成長が見られ、集団でのよりよい生活を送る姿がみられるようになった。</p> <p>特別な支援が必要な幼児に対しては、臨時講師、生活支援員を中心に適切な支援を行った。支援の技術に差があるため、担任も含め更なる研修が必要である。特別支援教育スーパーバイザーや西日野にじ学園地域支援員との密なる連携を行う。</p>		

幼稚園（幼児）教育

目標3 安全・安心な園づくりと保育力の向上の推進

目標4 家庭生活との連続性を踏まえた保育の実施

安全・安心な園づくりや園経営の充実、教職員自身の資質・能力の向上などに努めながら、幼児だけでなく保護者にも寄り添い、共に幼児期の教育に取り組んでいきます。

主な取組内容

- 警察や関係機関と連携した防災・防犯教室の実施の促進
- 園施設（危険箇所の修繕など）の改善
- 保育力の充実を図る園内研修の実施と就学前アドバイザーの配置
- 町教育委員会事務局主催教職員研修会の実施
- 教育研究員制度を活用した教職員自主研修の推進
- 中学校区教育懇談会による課題別の保幼小中連携協議
- 未就園児を対象とした園庭開放の実施
- 地域の教育力（地域教材・地域人材）の積極的活用の支援
- 広報紙、HP 掲載、メール発信等の機会を利用した園情報等の発信・周知
- 家庭・地域の教育力向上を図る PTA、地域団体等への出前講座などの実施
- 「生活習慣チェックシート」による規則正しい生活の定着促進

成果指標	実績	評価
「健康や心配事などについて気軽に相談できている」の肯定回答 90%以上	99%	A
「保育参観や行事等で開かれた園づくりに努めている」の肯定回答が 90%以上	97%	
「学校公開や各種通信、HP などを通じて学校の情報が発信されている」の肯定回答が 80%以上	98%	

現状と課題

就学前教育アドバイザーの熱心な指導により、特に若手教員の保育力の向上が見られた。しかしながら、複数担任であれば余裕をもって幼児一人ひとりを見ることができ、一人担任であると、ヒヤリハットを見逃すことがあった。業務改善も含めた、余裕を持った園運営を図りながら、安全・安心の充実に努めていかなければならない。

本年度から、月に1回以上学級通信を発行したことにより、園での様子を保護者に知らせることができた。日々の幼児の成長の様子に加え、保育のねらいを知らせることで、家庭と一体となった保育を一層進める必要がある。

小 中 学 校 教 育		
目標 1 未来を切り拓く資質・能力の育成		
目標 1 - (1) 確かな学力と社会参画力の育成 学力の向上・定着・活用を推進していく中で、特別支援教育、グローバル教育及びキャリア教育とともに充実させていくことにより、確かな学力と社会参画に必要な力の育成を図っていきます。		
主 な 取 組 内 容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びを実現する授業力向上研修（授業公開）の実施 ○ 個に対応したきめ細かな授業のための基礎学力充実加配教員の配置 ○ CRT（学力到達度検査）の実施と分析、児童生徒へのフィードバック ○ 適切な指導・支援のための特別支援教育アドバイザーの配置 ○ 学習支援員、生活支援員、日本語指導員の配置 ○ 外国語教育の充実のための ALT の配置 ○ ICT 機器の充実及び積極的活用のための ICT 支援員の配置 ○ 「自分発見！地域ふれあい事業」の実施（中学校） ○ 夢の創造推進事業の実施 		
成果指標	実績	評価
CRT の評定出現率が小学校（3段階）→2以上、中学校（5段階）→3以上が80%以上	86%	B
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、肯定回答が80%以上	68%	
「授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つと思いますか」について、肯定回答が85%以上	90%	
現 状 と 課 題		
<p>CRT の評定出現率が非常に高い数値となり、学力の底上げが図られていることがわかる。できなかった子どもを放置せず、ていねいに知識・技能の定着を図っている結果である。</p> <p>ALT、支援員、アドバイザー等、チーム学校体制で学力の向上を図ってきたが、主体的・対話的で深い学びをめざした授業改善は始まったばかりである。今後の発展に期待したい。</p> <p>通級指導教室が軌道に乗り、通常学級における支援が必要な児童に対して効果的であることがわかってきた。北小学校における自校通級について研究をしていく必要がある。</p> <p>ICT の整備が進み、大型提示装置とタブレット端末が設置された。時代の要請により、今後はますますその活用が望まれている。指導主事・ICT 支援員を中心とした研修の充実を図る。</p>		

小 中 学 校 教 育		
目標 1 未来を切り拓く資質・能力の育成		
<p>目標 1 - (2) 豊かな情操といじめや差別を許さない力の育成</p> <p>教育活動全般を通じて、人権教育及び道徳教育を推進するとともに、文化芸術に係る体験や表現活動、読書活動を充実させていくことにより、豊かな情操といじめや差別を許さない力の育成を図っていきます。</p>		
主 な 取 組 内 容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育カリキュラムの点検とカリキュラムに基づいた人権教育の推進 ○ 道徳の授業の公開と公開時における指導主事による指導・助言 ○ 学級満足度（Q-U）調査の実施と分析を基にした児童生徒への対応 ○ 法教育推進事業の実施 ○ 自然教室の実施 ○ 学校図書館司書の配置と学校図書館図書標準（冊数）の維持 ○ 読書旅行事業の実施 ○ 芸術鑑賞会の実施 ○ 特色ある教育活動補助事業の実施 		
成果指標	実績	評価
「自分にはよいところがある」について肯定回答が 80%以上	80%	D
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、肯定回答が 100%	97%	
学校の授業以外の 1 日あたり（月～金）の読書時間について、30 分以上の割合が 50%以上	31%	
現 状 と 課 題		
<p>特別な教科道徳が小学校で始まり（中学校は試行）、いわゆる教え込みではない「自ら考える道徳」の適切な指導が重要となる。旧態依然とした道徳からの脱却が急務である。学校を支援するためにも、更なる情報発信が必要である。</p> <p>いじめに関しては、「いじめと認識していないいじめ」について、もっと注意を図るべきであり、誰一人として苦しむことの無い学校づくりを進めていく。</p> <p>読書旅行事業により、「家読」の充実を目指してきたが、残念ながら成果が見られなかった。家庭の協力が得られにくい中ではあるが、あきらめずに指導・啓発を続けなければならない。図書館司書との連携や、外部との連携を模索することも必要である。</p>		

小 中 学 校 教 育		
目標 1 未来を切り拓く資質・能力の育成		
<p>目標 1 - (3) 基礎となる健康・体力と危機回避能力の育成</p> <p>運動習慣の確立や健康教育、食育を通じて体力・運動能力を向上させるとともに、防災・安全教育を充実させることにより危機管理能力の育成を図っていきます。</p>		
主 な 取 組 内 容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「新体力テスト」の実施と分析、児童生徒へのフィードバック ○ 部活動ガイドラインに基づく安全で健康に留意した部活動の推進 ○ 部活動等、大会行事の参加に必要な経費の助成 ○ 養護教員部会と連携した、学校保健に関する学習会等の実施（年 1 回以上） ○ 安全・安心な給食の提供と食に関する授業の実施 ○ 「学校園における防災計画」に基づいた防災教育、防災訓練の実施 ○ 警察や関係機関と連携した「命を大切に作る教室」の実施の促進 ○ 登下校におけるスクールサポート等の実施 ○ 校区安全マップの作成及び配付 		
成果指標	実績	評価
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小 5・中 2）」における総合判定 C 以上の割合が、70%以上	82%	B
「運動やスポーツをすることが好きですか」について「好き」と回答した割合が、70%以上	88%	
「学校の帰り道で地震が起きたときの避難の仕方を知っている」について肯定回答が 100%	85%	
現 状 と 課 題		
<p>「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、全国的にその数値が下がる中、本町の小中学校では数値が向上するとともに、県下においても素晴らしい結果をあげることができた。ひとえに、教職員の日頃の取組の成果と言える。今後は、保幼小中が連携した体幹トレーニングや「川越キラキラ体操」の取組を行いながら、体を動かすことを楽しむ子どもをより多く育てていく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により、衛生面の意識が高まったため、インフルエンザによる学級閉鎖が少なかった。日頃の衛生管理の重要性が確認されたので、今後も継続していく。</p> <p>安全・安心の確保については、各校において工夫した取組が行われている。校区安全マップの更新に伴い、安全安心の確保をより自分事と捉え、適切な行動ができる児童生徒の育成にシフトしていきたい。</p>		

小 中 学 校 教 育		
<p>目標 2 学校教育力の向上と教育環境の整備</p> <p>学校マネジメント及びカリキュラムマネジメントを進めていく中で、教職員一人ひとりの資質・指導力の向上、異校種連携及び安全・安心な学校づくりを推進します。</p> <p>一方で、教職員の多忙化解消に向け総勤務時間縮減の取り組みを促進していくことにより、子どもと向き合う時間のさらなる確保を図っていきます。</p>		
主 な 取 組 内 容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ カリキュラムマネジメントによる教育活動の質の向上 ○ 町教育委員会事務局主催教職員研修会の実施 ○ 教育研究員制度を活用した教職員自主研修の推進 ○ 主体的・対話的で深い学びを充実させる、学力向上アドバイザーの配置 ○ 中学校区教育懇談会（保幼小中連携）による授業公開と課題別の連携協議 ○ 不登校支援員の配置 ○ いじめに関する実態調査の実施（学期に1回以上） ○ 子どもと向き合う時間を確保するための教職員の業務改善支援 ○ 学校施設（危険箇所の修繕など）の改善 		
成果指標	実績	評価
「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」について、肯定回答が90%以上	93%	C
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定回答が90%以上	83%	
「悩んだり、困ったりした時に先生に相談できている」の肯定回答90%以上	79%	
月80h以上の時間外労働職員の減少（最終0人）	78人 32人減	
現 状 と 課 題		
<p>各種研修会の開催、アドバイザーや指導主事による授業研究会等により、教職員の資質向上を図った。特に、教育基本方針で大切にしている「非認知能力の育成」については、保幼小中全体研修会で周知を図った。今後も、定期的に『豊かな心』を培うための研修を行っていく。</p> <p>児童生徒のコミュニケーション力の低下、教職員の多忙化等により、教員と児童生徒の関わり合う時間が少なくなっていることが原因なのか、成果指標において実績の上がらなかった項目が見られた。子どもたちにとって信頼される教員とは何かを知らせていく。</p> <p>教職員の超過勤務は、ゆっくと改善している。各学校においては、「川越町立学校教育職員の勤務時間の上限に関する方針」に従った、働き方改革を推進する必要がある。</p>		

小 中 学 校 教 育		
<p>目標3 家庭・地域とともにある学校づくりの推進</p> <p>家庭との連携はもとより地域に開かれた教育課程を推進していく中で、地域の方々の知識・経験・技能を活用した学習や体験活動を積極的に取り入れることなどにより、地域とのつながりを深め、地域ぐるみの子育てにつなげていきます。</p>		
主 な 取 組 内 容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後や土曜日等を活用した学校と地域・保護者連携と協力体制の構築 ○ オープンスクール・授業参観の実施の促進 ○ 地域の教育力（地域教材・地域人材）の積極的活用の支援 ○ 保護者・地域への防災・防犯等、安全意識向上の啓発 ○ 広報紙、HP 掲載、メール発信、イベント等の機会を利用した教育情報等の発信・周知 ○ 家庭・地域の教育力向上を図る PTA、地域団体等への出前講座などの実施 ○ こども・家庭相談支援係（福祉課）と連携した保護者相談及び家庭支援 ○ 川越町ファミリー読書習慣の取組の実施 ○ 「生活習慣チェックシート」による規則正しい生活の定着促進 		
成果指標	実績	評価
「学校公開や各種通信、HP などを通じて学校の情報が発信されている」の肯定回答が80%以上	95%	A
「家の人と学校での出来事について話をしますか」について、「している」と回答した割合が70%以上	74%	
「毎日同じくらいの時間に起きている」について、「起きている」と回答した割合が70%以上	89%	
現 状 と 課 題		
<p>学校と役場の連携も進み、「チーム学校」で児童生徒の支援が進んだ結果、地域も学校も大変落ち着いた状況が続いている。</p> <p>今後は、「地域とともにある学校」の実現を目指し、町民と学校が一体となった子育てを始める必要がある。</p> <p>ひとり親家庭、共働き家庭が増える中だからこそ、保護者も巻き込んだ教育活動を模索する必要がある。同時に、「ポレポレ川越（不登校支援員）」のようなアウトリーチ型支援の活用方法についても検討する必要がある。</p>		

2 社会教育

基本方針 豊かな心を土台とした生涯現役力の育成支援

社会教育		
<p>目標 1 温もりのある家庭・地域づくりの推進</p> <p>すべての教育の出発点でもある家庭教育を支える地域づくりを推進するために、地域行事等への参加促進や「あいさつ・声かけ運動」（あいさつ＋１）の拡充を図ります。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭の日」（毎月第３日曜日）の周知啓発 ○ 家庭教育に関する講演会の開催 ○ 「子ども 110 番の家」の周知啓発及び登録促進並びに連携会議の開催 ○ 非行防止補導活動の実施 ○ 成人式の実行委員による自主的な企画及び運営支援 ○ 三世代交流事業（10 地区）の実施 ○ 「あいさつ・声かけ運動」（あいさつ＋１）の周知啓発 ○ 地域の核となる団体との連携及び継続支援 		
成果指標	実績	評価
家庭教育講演会の「満足」以上の肯定回答が 80%以上	100%	B
「あいさつ・声かけ運動」（あいさつ＋１）登録者数の増	微増	
少年非行概況による補導状況で、川越町が管轄となる交番の「深夜はいかい」の件数が 13 件以下	8 件	
現状と課題		
<p>毎月第３日曜日は「家庭の日」である。共働き世代や核家族の増加に伴い、子育てに不安や孤立を感じる家庭も増えている。家庭教育はすべての家庭の出発点でもあることから、「家庭の日」には、家族の対話がより深められるような、さらなる周知啓発を行っていく必要がある。</p> <p>人と人とのつながり、心と心をつなぐを大切に、地域コミュニティや青少年の育成を推進するため、平成 23 年より「あいさつ・声かけ運動」を実施。現在まで 1,036 名の方が登録をした。現場においてはあいさつは浸透してきているように思われるが、一つの指標である登録者数は、ここ数年は横ばいである。よって今後、更なる活動や新たな事業展開を行う必要がある。</p> <p>子ども 110 番の家看板設置において、少しずつだが増加してきている。人が居ない家につけても意味がないとの意見もあるが、多少なりとも防犯目的になると言う意見もある。今後も設置していただく方々に対し、設置趣旨をご理解いただきながら、登録者の増加を図っていきたい。</p>		

社会教育		
<p>目標 2 人権を尊重する意識づくりの推進</p> <p>人権についての正しい理解と認識を深めてもらうため、学習会等を通して人権啓発を行い人権尊重の意識づくりを推進していきます。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権・同和教育推進協議会役員会の開催 ○ 参加型人権学習会の実施 ○ 三重県人権・同和教育研究大会への参加 ○ 人権意識の周知啓発 ○ 小学生作成の人権ポスターの展示 		
成果指標	実績	評価
参加型人権学習会参加者アンケートで「人権意識が向上したか」の肯定回答が 80%以上	74%	C
参加型人権学習会参加者数の増（前回同地区と比較して）	同数	
現状と課題		
<p>各地区で行う参加型人権学習会について、参加者からのアンケートやタイムリーな話題や課題などを参考に、内容を替えて研修会を開催している。「人権意識が向上したか」の肯定回答は目標値をやや下回っているが、「役にたたなかった」の回答はなく、個々の感想は「たくさんの気づきがあった」「いい内容だった」など否定的なものはなかった。ただし、参加者数や参加者の年齢構成をみると、ここ数年横ばい状態であり、若年層の参加が少ない。今後、若年層への参加を働きかけながら参加者数をいかに増やしていくかが課題である。</p>		

社会教育		
<p>目標3 いつでもだれもが学べる生涯学習の推進</p> <p>学び始めるきっかけづくりや楽しく学べる環境づくりを通して生涯学習を推進するとともに、図書室の充実を図りながら、読書活動の普及啓発を推進していきます。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもから高齢者までを対象とした各種の生涯学習講座を開設 ○ 生涯学習講座等の活動の様子をHP等に掲載 ○ 愛好会新規会員募集の支援 ○ 川越富洲原駅構内ショーケース及び役場ホールに愛好会等の作品を展示 ○ 子どもから高齢者までを対象とした家庭読書の促進啓発 ○ 魅力ある図書室としての機能充実 ○ 読み聞かせ・お話の会の開催 		
成果指標	実績	評価
生涯学習講座受講者アンケートで「満足」以上の肯定回答が80%以上	83%	B
生涯学習講座定員に対する定員達成率が100%	79%	
図書室図書貸出冊数の増加 (平成31年4月から令和2年2月までの期間と前年同期間との比較)	増加	
現状と課題		
<p>人生100年時代を迎える中で、生涯学び続けることができるための学習講座を提供していくことがより一層求められている。生涯学習講座受講者アンケートで「満足」以上の肯定回答が83%という結果をいただいたが、定員達成率は100%に届かなかった。町民一人ひとりが自ら進んで、しかも気軽に取り組んでいただけるような学習講座を企画していくことが必要である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策により図書室を3月初旬から閉館したため、前年同期間との比較をしたときの貸出冊数は増加している。</p> <p>生涯、進んで読書に親しむ方々を増やしていく取り組みを今後も続けていく必要がある。そのためには、まずは各家庭において、読書に対する興味や関心が高まるような習慣（家読（うちどく））づくりを、地域や学校等と連携・協力しながら検討していきたい。</p>		

社会教育		
<p>目標 4 文化芸術活動の推進及び地域文化・郷土資料の保管、継承等</p> <p>文化芸術活動の参加者などを拡充させていくため、その成果を発表する場や触れ合う機会を提供していきます。</p> <p>また、生まれ育った地域に誇りと愛着を持ち続けてもらい、地域文化・郷土資料を後世につなげていくため、その保管・継承に努めていきます。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ あいあいホール自主事業の内容を企画委員会で検討 ○ ふれあい祭における文化発表会の開催 ○ 町指定無形民俗文化財映像ソフト及び文化財調査実績の活用 ○ 町内公共施設等において郷土資料品の一部展示 		
成果指標	実績	評価
あいあいホール自主事業入場者アンケートで「満足」以上の肯定回答が80%以上	89%	A
郷土の歴史や文化に関する講座の実施	実施	
現状と課題		
<p>町の文化芸術の拠点であるあいあいホールの自主事業は、幅広いジャンル、幅広い年齢層を対象に行っており、たくさんの方に文化や芸術に触れる機会を提供している。「満足」以上の肯定回答を多々いただいていることから、何度もご来場いただくお客さまも多いが、新たなお客さまを開拓できるような事業を、企画委員会でより一層検討していく必要がある。</p> <p>郷土資料館の老朽化により、解体を計画している。そのため資料を別の場所に移動しているが、今後、その資料を如何に活用し、展示していくかの検討が必要である。また、文化財については町民の関心を高めていくため、文化財に直接触れることができる機会や場所を提供するなどの工夫が必要である。</p>		

社会教育		
<p>目標 5 生涯スポーツ活動の推進</p> <p>健康や仲間との交流などを目的としたスポーツから競技スポーツまで、幅広くスポーツ人口を拡充させていくために、運動機会の提供や競技力の向上を図る場づくりを推進していきます。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民運動会、町駅伝大会等町ぐるみのイベント開催 ○ ニュースポーツをはじめとした各種スポーツ教室等の開催 ○ スポーツ教室等の活動の様子をHP等に掲載 ○ 地域の核となるスポーツ団体との連携及び継続支援 ○ 総合運動施設等の維持管理と充実 		
成果指標	実績	評価
スポーツ教室参加者アンケートで「満足」以上の肯定回答が80%以上	95%	B
スポーツ教室定員に対する定員達成率が100%	84%	
総合運動施設の利用者数の増 (平成31年4月から令和2年2月までの期間と前年同期間との比較)	増加	
現状と課題		
<p>町民運動会や町駅伝大会などの各種スポーツ大会や各種スポーツ教室においては、たくさんの方々にご参加いただくとともに、総合運動施設の利用も増加しているが、参加者の固定化が進み、増加にも陰りが見受けられる。</p> <p>互いにスポーツを楽しむことは、他者との協同や思いやりを育み、地域コミュニティの形成にも役立つ。このスポーツの効用を拡充するため、地域におけるスポーツ活動の核となる各団体とも連携しながら、新たなスポーツメニューの提供やスポーツの場及び機会づくりを図り、スポーツ人口を拡大していく必要がある。</p>		

IV 学識経験者の知見の活用

1 説明及び面談の実施

教育委員会の点検・評価の客観性を確保するため、教育委員会の取組内容、自己評価、現状と課題等について説明及び面談を次表のとおり実施しました。

月 日	場 所	内 容
6月4日	川越高等学校	教育委員会の取組内容、自己評価、現状と課題等について説明
6月5日	川越町役場	同上
6月22日	川越町役場	面談の実施により意見を聴取
6月24日	川越高等学校	同上

2 意見の要旨

上記の面談にて様々な意見をいただきました。その要旨は次のとおりとなりました。

今後の事務改善に活かしていきます。ありがとうございました。

学校教育	<ul style="list-style-type: none">・幼稚園・小中学校における、支援員やアドバイザー等の人的配置の充実がきめ細かいサポートにつながり、子どもたちや保護者の安心につながっている。・充実した人的配置によるきめ細かな教育が、学力の定着や向上に直結すると考えられる。現在の取組の継続とさらなる充実をぜひお願いしたい。また、子どもたちと教員がかかわる時間を確保し、子どもたちの心に寄り添った関係づくりにつなげてもらいたい。・肯定回答をしていない子どもたちへのフォローを、しっかり行う必要がある。・教員の勤務時間削減がなかなか進んでいない。教員が心身ともに健康な状態で子どもたちと向き合えるよう、継続的に取組を進めてほしい。
社会教育	<ul style="list-style-type: none">・読書に対する興味や関心が高まるよう、いろいろな場面で本を紹介するような取り組みや、引き続き家読などの習慣づくりを推進して欲しい。・文化芸術活動や郷土の歴史などの講座等について、利用のしやすさや親しみやすさなどを工夫しながら、ぜひ継続をお願いしたい。・あいさつ声かけは浸透してきていると思われる。引き続き取組をお願いしたい。
その他	<ul style="list-style-type: none">・読書活動やあいさつ・声かけ運動の推進については、学校教育と社会教育が連携して取り組むことで、より効果が上がる。・項目によっては、成果指標の見直しが必要なものがあるのではないかと。